

報告事項イ

鳥取西高等学校整備のあり方検討会の検討結果報告書について

鳥取西高等学校整備のあり方検討会の検討結果について、別紙のとおり報告します。

平成23年8月16日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

(別紙)

## 鳥取西高等学校整備のあり方検討会の検討結果報告書について

平成23年8月16日

教育環境課・文化財課

県立鳥取西高等学校の整備に向け、その方向性を検討するため、鳥取西高等学校整備のあり方検討会を設置して、「文化財(遺構)の保存と活用」、「生徒の安全確保」、「教育環境の改善」の観点から、学識経験者、学校関係者、行政関係者等に計6回にわたって検討いただきました。

このたび、その検討結果がまとまり、平成23年8月9日に道上座長から教育長に報告がありました。その概要は以下のとおりです。

### 1 検討結果

別添「検討結果報告書」のとおり

### 2 今後の取組

今後、「鳥取西高等学校整備のあり方検討会検討結果報告書」を参考として、教育委員会で方針を決定し、議会にお諮りしながら、鳥取西高等学校の整備を進めていく。

(別添)

## 検 討 結 果 報 告 書

鳥取県教育委員会

教育長 横 濱 純 一 様

### 鳥取西高等学校整備のあり方検討会設置までの経緯

鳥取西高等学校の整備については、校舎の老朽化が進んでいることから、将来的な史跡外への移転を検討することを前提としながらも、当面は史跡との共存を図りながら、整備を進めることとし、史跡指定地外の第2グラウンドに体育館を建設し、史跡指定地内の三ノ丸内の建物を減らす現地改築計画が進められてきました。

しかしながら、平成21年度に行った第2グラウンドの発掘調査の結果、江戸時代後期の刳蔵跡が良好な状態で発掘されたことを契機に、鳥取西高等学校の整備のあり方について、あらためて検討することが必要となりました。

このようなことから、当検討会が設置され、「文化財の保存と活用」、「生徒の安全確保」、「教育環境の改善」の観点から、鳥取西高等学校の整備の方向性を検討することを託されました。

### 鳥取西高等学校整備のあり方検討会での検討結果

鳥取西高等学校整備のあり方検討会では、平成22年8月2日の設置から計6回にわたって鋭意検討し、検討に当たっては、小田原城跡、彦根城跡、及び赤穂城跡と、それぞれの史跡内にある学校等を視察し、これらの事例も参考にしました。

整備の方向性について、生徒の安全性の確保のため耐震改修を急ぐべきとの意見が多かったものの、「安全確保のためにも、先ずこれまでの現地改築案で文化庁へ現状変更許可申請を提出し、文化庁の意見を文書で明確に要求し、耐震改修はその後にすべき」との意見もあり、この点については意見の一致が図られませんでした。下記のとおり検討結果を取りまとめましたので報告します。

### 記

#### (生徒の安全確保)

- 1 東日本大地震、ニュージーランド地震などにより尊い人命が失われた状況に鑑み、生徒の安全確保を最優先し、速やかに校舎の耐震整備を図りたいこと。

#### (教育環境の改善)

- 2 工事の実施に当たっては、緊急車両の通路の確保や校舎のバリアフリー化など生徒の安全確保のための施設整備に取り組まれるとともに、景観との調和にも配慮しながら、教育環境の改善に積極的に取り組まれないこと。

(文化財の保護)

- 3 工事の実施に当たっては、文化財(遺構)の保存と活用の観点から、地下遺構に影響を及ぼすおそれのある工事については、文化庁、鳥取市と十分な調整を行い、慎重に取り組みたいこと。

(文化財と学校の共存)

- 4 鳥取市が行う史跡整備と鳥取県教育委員会が行う学校整備においては双方の関係者が連携を密にし、互いに協力するとともに、文化財を活かしたまちづくりによる中心市街地の活性化に資するよう努めること。

さらに、学校運営に支障がない範囲で、学校敷地内の史跡の顕在化を図るとともに、県民が史跡に親しむ機会を提供できるよう、史跡の公開に協力されたいこと。

(史跡外への移転)

- 5 文化庁の「移転が大前提であるが、移転地の問題や生徒の安全対策は緊急の課題であることから選択肢として耐震改修もあり得る。」との意見を踏まえて検討した結果、移転について異なる二つの意見があったことから、今後、文化庁との協議に当たってはこれらの意見を参考にされたいこと。

<意見>

- ア 本来早急に史跡外へ移転すべきだが、現在、移転先がない状況では、現校舎の耐震化は必要である。しかし、鳥取県教育委員会の責任で、移転先確保の検討など移転に向けた具体的な取り組みを進めるべきである。
- イ 現校舎を耐震化すれば、次期校舎整備は耐用年数が経過した後となることから、具体的な移転については将来の検討に委ねるべきである。

平成23年8月9日

鳥取西高等学校整備のあり方検討会

座長 道上正規

(参 考)

委員名簿

学識経験者

いけもと ももよ  
池本 百代【鳥取女性中央会幹事、まちづくりレディース鳥取会長】

おかだ しょうめい  
岡田 昭明【鳥取大学名誉教授、県文化財保護審議会会長】

さかで とおる  
坂出 徹【鳥取商工会議所専務理事】

とうひぐち まもる  
東樋口 護【鳥取環境大学副学長】

にしこおり つとむ  
錦織 勤【鳥取大学教授、県文化保護審議会部会長】

はまだ ゆきこ  
濱田由紀子【鳥取県弁護士会副会長】

みちうえ まさのり  
道上 正規【(財)とっとり地域連携・総合研究センター理事長】(座長)

学校関係者

あおき せつや  
青木 節也【鳥取西高等学校校長】

いけうち かつひこ  
池内 勝彦【鳥取西高等学校PTA会長、同窓会副会長】

まつした えいいちろう  
松下栄一郎【鳥取西高等学校同窓会副会長】

鳥取市

かごはら しんいち  
楮原 伸一【鳥取市教育委員会事務局次長】(平成23年3月31日まで)

えもと かつや  
江本 克也【鳥取市教育委員会事務局次長】(平成23年4月1日から)

開催状況

区 分	日 程	議 題 ( 検 討 内 容 )
第 1 回	平成22年 8 月 2 日 ( 月 )	・鳥取西高等学校整備のあり方検討会の設置について ・鳥取西高等学校の現状 ・これまで進めようとしていた改築計画の概要
第 2 回	平成22年 9 月 9 日 ( 木 )	・文化庁との協議の経緯などについて ・鳥取市史跡整備計画の概要について ・今後の方向性について
第 3 回	平成22年11月 9 日 ( 火 )	・過去の移転の検討状況等について ・今後の方向性について
県外視察	平成23年 1 月14日 ( 金 )	・学校法人新名学園旭丘高等学校 ・神奈川県立小田原高等学校 ・国史跡小田原城跡
	平成23年 1 月20日 ( 木 ) ~ 21日 ( 金 )	・滋賀県立彦根東高等学校 ・国特別史跡彦根城跡 ・兵庫県立赤穂高等学校 ・国史跡赤穂城跡
第 4 回	平成23年 4 月25日 ( 月 )	・県外視察結果の概要等について ・今後の方向性について
第 5 回	平成23年 5 月23日 ( 月 )	・整備の方向性について
第 6 回	平成23年 7 月25日 ( 月 )	・検討結果報告書(案)について